

令和5年度 第1学年 技術・家庭科(技術分野) 年間指導・評価計画(年間35時間)

目 標	◎生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。 ◎ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。
-----	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

評価の観点 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

月	時間	題材名	題材のねらい 主な学習内容	評価の規準
4 ★ 5	2	【ガイダンス】 生活や社会における技術の役割	○技術分野の学習内容や学習の進め方についての見通し ・技術分野で学ぶこと ・技術を見つけよう ・技術とわたしたちの生活 ・学習の見通しをもとう	③技術分野の学習内容に関心をもっている。 ②技術が生活や社会に影響を与えていることに気づくことができる。 ③技術の進展と環境との関係に関心を示している。 ②学習の進め方に見通しをもっている。
6 ◆ 7 9 10 11 ◆ 12	10	A 材料と加工の技術	○身の回りの製品を観察し、使用されている材料やその加工方法や工夫されていることを調べる。 ○木材や金属などの材料の特性に関する観察を行う。 ○木材や金属、プラスチックの特徴と加工方法を調べる。 ○身の回りの製品や社会の中にあるじょうぶにするための工夫を調べる。 ○等角図法及び第三角法による正投影図法を身につける。 ○製図のルールを知る。 ○材料と加工の技術による問題解決の手順を調べ、問題解決の視点について考える。 ○生活の中から、身の回りの問題を見いだして、課題を設定する。 ○設定した課題に基づき、製作物を構想し、課題を解決する製作品の設計図・工程表を具体化する。 ○材料取りと部品加工 ○組立てと仕上げ ○これまでの学習を振り返る。	②生活の中で利用されている製品に込められた工夫を読み解り、材料と加工の技術の見方・考え方に気付くことができる。 ①木材や金属などの材料と使用方法を説明できる。 ③進んで材料と加工の技術に関わり、主体的に理解し、技能を身につけようとしている。 ①木材の特徴や加工法の科学的な原理・法則を説明できる。 ①金属やプラスチックの特徴や加工法の科学的な原理・法則を説明できる。 ①じょうぶな構造や形状・組合せについて科学的な原理・法則を説明できる。 ①図面を読んだり、描いたりすることができる。 ②製品の問題解決の手順から、問題解決の視点について、気付くことができる。 ③自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。 ②生活の中から材料と加工の技術に関わる問題を見いだして、収納に関する課題を設定することができる。 ①製作品の制作に必要な図面や表を書き表すことができる。 ②課題の解決策となる製作品の大きさ・形状・構造など、使用場所や加工方法・使用できる材料などの制約条件に基づいて構想し、設計や計画を具体化できる。 ①安全・適切に材料取り・切断・部品加工を行うことができる。 ③自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう他者と共同して粘り強く改善・修正しようとしている。 ①安全・適切に組立て・仕上げと検査・点検、必要に応じた改善・修正ができる。 ②適切に組立てができるよう手順を考えて、組立てを行うことができる。 ②完成した製作品が設定した課題解決をできるか評価するとともに、設計や制作の過程に対する改善及び修正を考慮することができる。 ①これまでの学習と、材料と加工の技術がよりよい生活や社会の実現に果たす役割や影響を踏まえ、材料と加工の技術の概念を説明できる。 ③よりよい生活の実現に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造している。
1 2 ◆ 3	5  1 (2)	D 情報の技術	○生活や社会と情報の技術 ○情報とコンピュータ ○情報セキュリティと情報モラル ○情報の表現と伝達 ○双方向性のあるコンテンツによる問題解決	③情報の学習内容に関心をもっている。 ②身の回りにある、情報の技術を利用した機器のサービスに込められた工夫を読み取り、情報の技術の見方・考え方に気付くことができる。 ①情報の表現、記録、計算、通信などについての科学的な原理・法則や、情報のデジタル化、処理の自動化、システム化などに関わる基礎的な技術の仕組みを説明できる。 ①情報通信ネットワークの構想と、情報を利用するための基本的な仕組みを説明できる。 ①情報セキュリティに関わる基礎的な仕組みを説明できる。 ①情報モラルの必要性と情報を発信する時の注意点について説明できる。 ②ネットワークの仕組みをもとに、情報モラル・セキュリティを説明できる。 ①知的財産を保護する必要性と利用方法を説明できる。 ①双方向性のあるコンテンツの仕組みを理解し、簡単なプログラムの制作、動作の確認及びデバック等ができる。 ②双方向性のあるコンテンツに関わる問題を見だし、課題を設定できる。 ③自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。 ②使用するメディアを複合する方法と効果的な利用方法など利用者に配慮した解決策を構想し、情報処理の手順を具体化することができる。 ③自分なりの新たな発想を行うなど、知的財産を創造、保護及び活用しようとしている。 ②制作工程に基づき、設計と実際の動作を確認しながら、合理的な解決作業を考慮することができる。

			①安全・適切なプログラムの制作，動作の確認及びデバック等ができる。 ②問題解決とその家庭を振り返り，社会からの要求を踏まえ，プログラムがよりよいものとなるよう改善及び修正を考えることができる。 ③自分なりの新しい考え方や捉え方によって，解決策を構想しようとしている。
--	--	--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

◆定期考査 ◇道徳 ★オリパラ教育 ☆人権教育

### 評価計画(各観点の評価方法)

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<b>【生活や技術についての知識・技能】</b> 生活や社会で利用されている技術についての基礎的・基本的な知識・技能を身に付け，技術と生活や社会，環境との関わりについて理解している。	<b>【生活を工夫し創造する能力】</b> 生活や社会における技術に関わる問題を見出して課題を設定し，その解決を目指して，技術を評価，選択，管理・運用，改良，応用している。	<b>【主体的に実践する態度】</b> 進んで技術と関わろうとするともに，主体的に技術に関する知識・技能を身に付け，よりよい生活や持続可能な社会を構築するために適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとしている。
評 価 の 方 法	<b>【下記の評価資料にて評価を行う】</b> ○課題およびレポート ○ハンドノート ○作業状況や作品 ○定期考査	<b>【下記の評価資料にて評価を行う】</b> ○課題およびレポート ○ハンドノート ○作業状況や作品 ○定期考査	<b>【下記の評価資料にて評価を行う】</b> ○課題およびレポート ○ハンドノート ○作業状況や作品 ○定期考査

### 学習のアドバイス

(1)授業態度……授業では要点となることを主軸に、課題などの進め方のコツなどを話します。授業の内容を理解し、家庭学習や作業などを能動的にすすめる態度が好ましいです。生徒一人一人が、能動的に取り組めるかがポイントです。また、それは課題を進める上で作業効率に影響し完成の精度に影響します。要点を押さえ、問題を解決していきましょう。 (2)提出物や作品……提出物や作品は計画をもって積極的に取り組み、期限を守りましょう。また、提出物や作品を作成している際に不明なことや不確かなことが生じた場合は、その都度自ら動き問題を解決していきましょう。 (3)ふりかえり……提出物や作品、定期考査などで、学習状況を自分で振り返られるよう技術の授業に精力的に取り組みましょう。
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------